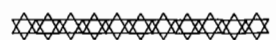


# あせりから来たJR東、期末手当差別拡大を提案

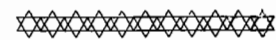
1988.6.6  
No.2830

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（22）七二〇七



すべての組合員のみなさん！ JR東は、五月三〇日、「期末手当成績率の格差拡大」を提案してきた。この攻撃は、今日、JR当局、革マル・鉄道労連の狙う「一企業一組合」が完全に破産しているなかで「国鉄労働運動を叩きつぶす」ためには徹底的に賃金差別をするというものだ。しかも、「昇給実施前」「夏季手当支給前」という時期を狙って提案するというヒレツ極まりない代物だ。われわれは、断じてこの攻撃を許さない！ 差別には団結をもって対決する基本原則を守り、この攻撃をはねかえそう！



手当の増・減額の最高  
一〇%から一五%に拡大

現行

成績率（増額）は、調査期間内における勤務成績に応じて次のとおりとする。  
ア、勤務成績が特に優秀な者 一〇/一〇〇増  
イ、勤務成績が優秀な者 五/一〇〇増  
成績率（減額）は、調査期間内における懲戒処分及び勤務成績に応じて、次のとおりとする。  
ア、出勤停止 一〇/一〇〇減  
イ、減給、戒告、訓告及び勤務成績が良好でない者 五/一〇〇減

改善

期末手当の成績率の割合を次のとおりとする。  
（一）増額  
ア、勤務成績が極めて優秀な者 一五/一〇〇増  
イ、勤務成績が特に優秀な者 一〇/一〇〇増  
ウ、勤務成績が優秀な者 五/一〇〇増  
（二）減額  
ア、出勤停止の処分を受けた者 一五/一〇〇減  
イ、減給又は戒告の処分を受けた者 一〇/一〇〇減  
ウ、訓告を受けた者及び勤務成績が良好でない者 五/一〇〇減  
実施時期、「昭和六三年度」の年末手当から、  
という内容であり、

①手当のアップは、「極めて優秀な者は一五%アップ」ということを新設した。では、「極めて」「特に」とどこがどう違うのがある、その基準はどこにあるのかなどというものが全くなく、極めて抽象的なものである。つまり、当局の裁量ひとつで判断され、賃金差別が生じる、という断じて認められないものなのだ。  
②また、手当のカットについては、これまで出勤停止で「一〇%カット」が「一五%カット」へと、減給・戒告処分の者を「五%カット」から「一〇%カット」へとそれぞれ重処分にしたのである。

差別には、団結の強化をもつて反撃を！

われわれは、こうした賃金差別によって団結を切り崩そうという当局、そして革マル・鉄道労連を断じて許さない。敵の攻撃は、徹底的であり非和解的だ。たまたかうのか屈服するののかふたつにひとつ。中間の道はない。  
長期波状ストライキの前進で、国鉄労働運動の総反撃のうねりをつくりだし、「分割・民営化」体制を打ち砕こう！

☆勤労総連合の要求と考え方

この「賃金差別」攻撃について、勤労総連合は白紙撤回を要求するとともに、以下の考え方を明らかにし、今後、引き続き交渉していくことを確認して終了した。  
①何故、この時期にこのような提案をするのか。  
②現場労働者の切実な要求である「私傷病欠勤」等による「期間率」の改善を優先させるべきである。  
③期末手当は、生活給となっており、全員に平等に支払うべきであり、格差の拡大はやめるべきである。



反対同盟 宮本嘉氏 急逝

反対同盟副行動隊長・宮本嘉氏が五月三〇日、急性心不全のためお亡くなりになりました。氏は、三里塚闘争が始って以来、その先頭に立ちつづけられるとともに、敵・公団、裏切り者を鋭く弾劾し、反対闘争を指導してきた方であります。

氏の急逝に哀悼の意を表するとともに、故人の意志を引き継ぎ、三里塚闘争勝利のためにたたかうことを明らかにいたします。

国鉄千葉動力車労働組合